

第35回 異物混入防止セミナー  
『時代が求める食の安心・安全：防虫防鼠管理』

【講師】

環境生物コンサルティング・ラボ代表  
株式会社 フジ環境サービス

技術士・農学博士  
常務取締役

平尾 素一 氏  
高橋 朋也 氏

西部化成 (株) 技術顧問  
技術部

農学博士  
日本ペストコントロール協会 1級技術者

篠田 一孝  
朝倉 彰一

主催：西部化成株式会社

SNS 社会を背景にして、食品を中心とした異物混入事故では、その後の対応によっては製造が継続できなくなり、企業の死活問題にまで発展する事例も見られます。中でも鼠族や昆虫類由来の異物については消費者に強い不快感を与え、健康被害の有る無しに関わらず製品の回収に至る場合も少なくありません。

これら異物の混入を防ぐため、専門業者からの協力のもと、自らの組織において効果的な防虫防鼠管理体制の構築が求められています。工場の防虫防鼠対策が一定のレベルで維持されるシステム（持続可能な対策）が構築されるためには、防虫防鼠対策を常に評価するモニタリングが不可欠です。

本セミナーでは、①持続可能な防虫対策を構築する方法 ②対策の効果を常に評価するためのモニタリングについて西部化成(株)技術部が話題提供いたします。また、特別講演として、2名の先生方に、日本発食品安全基準の法制化の流れを受けた最新の情報についてと、世界の食の安全基準に沿った防虫防鼠管理システムとは何かについてを、解説していただきます。

ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。

<日時>平成29年5月12日(金) 10:00 ~ 17:00

<場所>パピヨン24ガスホール (2F大ホール)  
福岡市博多区千代1丁目17番1号  
TEL 092-633-2480

<交通>

◇地下鉄「千代県庁口」下車 4番出入口 ➡ パピヨン24へ直結

- 福岡空港・博多駅方面からは中洲川端駅で乗り換え。  
エスカレーターを上り1番ホームより貝塚行きに乗車。 (所要時間15分)
- 天神方面からは貝塚行き(箱崎線)に乗車。 (所要時間5分)

◇バス「千代町」で下車

- 博多駅からはセンタービル前E番乗り場にて(九大前・九大病院・吉塚営業所行き)に乗車。
- 天神からは大和証券前14番乗り場にて(九大前・九大病院・吉塚営業所・月見町行き)に乗車。

会場及び会場周辺は駐車場の収容台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

<申込先> 西部化成株式会社 福岡営業所 セミナー係宛 (担当：大村)  
〒812-0053 福岡市東区箱崎4丁目28-6  
TEL 092(641)5755、FAX 092(641)5681

<募集人員> 80名 (なお、1社あたり2名程度までの参加をお願いします。)

<参加費> 受講料・テキスト代・昼食代など、全て無料です。

<申込方法> 添付の「セミナー申込書」をFAXでお送りください。

<申込締切> 平成29年 5月10日(水)  
定員になり次第、〆切らせていただきます。お早めにお申し込みください。



## ＜プログラム＞

受付開始 パピヨン2 4 ガスホール 2F大ホール 9:15～

開会の辞 10:00～10:10

講演 1 環境生物コンサルティング・ラボ代表 平尾 素一氏 (農学博士)  
「食の安全を取り巻く最新の情報」 10:10～11:40  
－HACCPの義務化・国際化、JFS、FSMAその後、食品工場のノロウィルス対策など－

食品輸出は2020年までに1兆円を超える勢いになってきました。日本の食品は安全であるとは言われてきましたが、世界に通じる日本発の食品安全基準は存在しませんでした。そこで、すべての食品取扱業者に対するHACCPの法制化、世界に通じるJFS認証の普及等々いよいよ日本も本格的に取り組み始めました。その他、食の安全に係る最新的话题を提供します。

ランチタイム & 展示コーナー 11:40～12:40

展示コーナーでは、お役に立つ情報・資料を取り揃えております。

講演 2 西部化成(株) 技術顧問 篠田 一孝 (農学博士)  
「持続可能な防虫対策の必要性」 12:40～14:10

忘れた頃に異物混入事故が発生することがあります。このような事態が生じるのは、工場の防虫対策が一定のレベルで維持されるシステム(持続可能な防虫対策)が構築されていないことに起因すると考えられます。持続可能な防虫対策を構築するために必要な方法とは何かについて解説します。

講演 3 西部化成(株) 技術部 朝倉 彰一  
「効果を常に評価する新モニタリングシステムの提案」 14:10～15:00

持続可能な防虫対策を実現するにはその効果を評価するモニタリングが必要です。従来、モニタリング報告書の提出には昆虫の同定やデータの分析を伴うため、少なくとも数日を要していました。しかし、迅速な評価と対策の実施には報告書の即日提出が望ましいと考えます。西部化成(株)が独自に開発したモニタリングシステムにより即日報告が可能となりました。そこでいかにして即日報告を可能にしたかを解説します。

コーヒータイム 15:00～15:20

講演 4 株式会社 フジ環境サービス 常務取締役 高橋 朋也氏  
「有害生物管理最前線：食品安全グローバルガイドラインに準じた防除管理システム」 15:20～16:20

HACCP導入義務化が決定した現在、今まで以上に有効な防虫防鼠システム構築が求められています。また、様々な食品安全グローバルガイドラインには有害生物管理についての要求事項が詳細に書かれており、これらを理解及び取入れた形でプログラムが作成され、運用されることが必須となりつつあります。そこで、主なガイドライン、特にFSSC22000要求事項に準じた管理プログラムについて解説します。

質疑応答 16:20～16:50

----- 切り取り線 -----

## 第35回 セミナー申込書

西部化成(株) セミナー係 大村 宛

FAX 092-641-5681

|         |      |  |
|---------|------|--|
| (貴社名)   |      | を<br>ご<br>記<br>入<br>下<br>さい<br>代<br>表<br>者<br>の<br>方<br>に<br>○ |
| (御住所) 〒 |      |  |
| TEL     | FAX  |  |
| (参加者氏名) | (所属) |  |
| (参加者氏名) | (所属) |  |